

## WEEKLY BULLETIN

会報 2016-2017

2月2日(木) 第27号  
第2820回例会  
第2510地区

●本日のロータリーソング 君が代、四つのテスト

Rotary

丘珠空港の  
可能性について(株)玄米酵素 相談役  
道見 重信 氏

札幌東ロータリークラブ

本日のプログラム

新会員卓話  
不動 直樹 会員

## 【1. ジェット化の経緯】

札幌丘珠空港のジェット化は桂信雄市政の平成6年に計画されましたが地域住民、反対派団体により平成7年計画断念に追い込まれた。最盛期には70万人もの利用者があった都市空港は全日空、日本航空が相次いで撤退し(千歳に集約)利用者は12万人位まで減少し都市空港の期待は断たれた。

## 【2. 丘珠研究会がなぜジェット化に取り組んだか】

- ① 少子高齢化社会の到来
- ② 人口の減少
- ③ 税収の伸びは期待出来ない  
との現状認識に基づき如何に活力ある北海道を創造していくかが経済人を含めた道民に課せられた課題である。との考えから丘珠研究会を発足させた。

## 【3. 丘珠研究会が目じたポイント】

- ① 税収の伸びが期待出来ない環境下では行政の大規模な投資も期待出来ない。と言うことであれば行政が持っている現状の資産設備、あるいは活用されていない資産を民間の発想で有効に活用しその効果が北海道、ひいては日本全体へ波及していければとの思い。
- ② 21,500メートル滑走路では本当にジェット化は無理なのか

## 【4. ポイントの検証】

- ① 平成23年7月28日 第一回の丘珠研究会を発会し以後64回の調査、研究を重ねた。(最終報告平成27年9月18日)
- ② 平成24年7月24日~27日 ロンドン・シティ空港調査視察
- ③ 平成25年7月7日 丘珠~名古屋 FDAテストフライト
- ④ 平成25年8月28日~9月2日 リオサントス・ドゥモン空港調査視察
- ⑤ 平成25年11月16日 丘珠~名古屋 初FDAチャータ機

## 【5. 検証結果】

- ① ロンドン・シティ空港  
滑走路1本、離陸1,199m、着陸1,319m、1日270便の定期便、国内・欧米、1年300万人、ロンドン新都心から6kmに位置、地下鉄導入、エアバスA318 138席
- ② リオサントス・ドゥモン空港  
滑走路2本、1,323mと1,260m、1日340便の定期便、1日約100便のプライベート、1年900万人国内専用、リオの中心街から1kmに位置、ボーイングB737-800 167席

## 【6. 丘珠空港との比較】

- ① 1,500mでは無理と言われていたジェット化は見事に覆された。
- ② ロンドン・シティ空港もリオサントス・ドゥモン空港も都心の交通の便が良い環境の中で運用されている。特にロンドンは札幌駅から丘珠空港までの距離と同程度であった。

## 【7. 丘珠空港の可能性】

- ① 現在の滑走路1,500mを早急に1,700mにして通年就航
- ② 将来1,800m滑走路を東側に新設
- ③ ドクタージェットの拠点
- ④ ビジネスジェット機の対応
- ⑤ 東北以北便の丘珠空港活用
- ⑥ 丘珠~東京便の開設
- ⑦ 国際便の開設
- ⑧ LCC機の丘珠での整備体制確立
- ⑨ 新ターミナルビル構築
- ⑩ 交通網の整備、特に高速道路乗り入れと地下鉄栄町とのモノレール化

## 【8. 丘珠は街づくり】

丘珠空港は空港だけの課題では無い。丘珠を含め石狩市、当別町を包含して将来の札幌、北海道をどうすべきか都市計画、経済、教育、文化政策の問題である。

## 【9. まとめ】

丘珠空港のジェット化の断念から約20年を経て丘珠空港が確実なる第一歩を踏み出し、大きな将来の可能性を秘め国内外から注目を得るまでに成長した。行政では先を展望出来なかった課題が一道民、一経済人の集まり研究会が行政、経済界を動かし展望を開いた。今、必要なのは研究会の様な民の知恵、行動力である。

マンリー  
メモ

テーブルマスター  
例会の各テーブルにはテーブルマスターが指名されています。主たる役割は、例会の短い時間の中でゲストや会員の皆さん方が、楽しく食事をし、語らい有意義に過ごして頂くための配慮をすることです。